

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

経法商学部 経法商学科

経法商学科では、124単位の修得と必修等の条件を充たした上で、以下のような能力・資質を涵養し、それらを総合的に活用できる学生に学位を授与するものとします。

（１）幅広い教養と複眼的・総合的思考力

人間・社会および沖縄地域などについて理解を深め、幅広い教養を修得し、複眼的・総合的な思考をすることができます。

（２）主体的な学習力と他者との協働力

大学において身につけた知識、思考力、資格を活かし、長期的な視点でキャリア形成を目指すことができます。

また、さまざまな現場の課題に対し、多様な人々と協力しながら、主体的に問題解決に取り組み、行動し、実践的に活躍できます。

（３）地域共創力

沖縄の自然・環境・歴史・文化等の特性を理解し、地域の課題を国際的な文脈でとらえ、新たな可能性に挑戦できます。

（４）専門的知識・技能の活用力

法律・経済・経営の視点に立脚し、社会教養に裏付けられた思考・分析ができます。

人文学部 国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科では、124単位の修得と必修等の条件を充たした上で、以下のような能力・資質を涵養し、それらを総合的に活用できる学生に学位を授与するものとします。

（１）幅広い教養と複眼的・総合的思考力

英語、中国語、日本語や第二外国語の習得を軸に、さまざまな地域の社会、文化、歴史を幅広く理解することができます。

（２）主体的な学習力と他者との協働力

学科で身につけた知見、コミュニケーション力、資格等を活かし、チャレンジ精神でキャリア形成に臨むことができます。

さまざまな人々と喜び、悲しみ、驚き、怒りなどを共有し、支え合う力があります。

（３）地域共創力

地域の環境やデザインングについて、共同体の住人とコミュニケーションを取りながら考え、外国人との積極的な共存を図ることができます。

(4) 専門的知識・技能の活用力

世界を舞台にして働き、地域社会に貢献し、またその成果を沖縄の共同体にも還元できます。

人文学部 福祉文化学科 社会福祉専攻

福祉文化学科社会福祉専攻では、124単位の修得と必修等の条件を充たした上で、以下のような能力・資質を涵養し、それらを総合的に活用できる学生に学位を授与するものとします。

(1) 幅広い教養と複眼的・総合的思考力

(幅広い教養と人間の権利を擁護する力)

幅広い教養を身に着け、人間の尊厳を遵守し且つ権利を擁護して、自らの社会的役割を遂行するための力を獲得します。"

(2) 主体的な学習力と他者との協働力

(主体的に学び問題を発見し解決する力)

人びとの多様性を理解し、社会で生起する事象に対し、自らが主体的に問題を発見し解決する力を修得します。

(コミュニケーション能力と自己理解力)

他者の話を傾聴し、受けとめ、呼応するコミュニケーション能力を身につける。合わせて、他者と関わることで自己を知り、他者と自分を大切にすることができます。

(3) 地域共創力

(地域社会における共創力)

共生社会を実現するために、地域における様々な人びとや関係機関等と共創する「地域に根差した福祉活動」のキーパーソンになることができます。

(4) 専門的知識・技能の活用力

(専門的知識と技術の活用力)

すべての人が身体的・精神的および社会的に健康で文化的な生活を営めるように、社会福祉の価値および知識、技法を習得し活用することができます。

人文学部 福祉文化学科 健康スポーツ福祉専攻

福祉文化学科健康スポーツ福祉専攻では、124単位の修得と必修等の条件を充たした上で、以下のような能力・資質を涵養し、それらを総合的に活用できる学生に学位を授与するものとします。

(1) 幅広い教養と複眼的・総合的思考力

(多文化や異文化などの多様性を理解できる能力)

多様性を理解し、幅広い教養と人間の権利を尊重する専門的な知識、倫理観を身につけるとともに、共感的な人間関係を育むことができます。

(2) 主体的な学習力と他者との協働力

(地域社会に能動的に貢献する態度)

地域社会の動向をふまえ、「健康」や「スポーツ」「福祉」の現場において必要とされる実践力を身につけ、地域社会の発展のために積極的に行動することができます。

(さまざまな人や組織と協力することのできるコミュニケーション能力)

背景の異なるさまざまな人々に対して「他者への配慮」や「受容と共感」「共に生きる」「支え合い」などの“福祉のこころ(福祉マインド)”を基礎としたコミュニケーション力を獲得しています。

(3) 地域共創力

(地域社会の課題解決力とそれに必要な論理的思考力)

地域社会の課題を発見・理解し、その課題解決に必要な情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現することができます。

(4) 専門的知識・技能の活用力

(専門的知識・技能を総合的に活用する力)

すべての人が身体的・精神的および社会的に健康で文化的な生活を送るための健康維持・増進の支援に寄与するとともに、発達段階に応じて「健やかな体」と「豊かな心」をバランスよく育むための知識・理論を総合的、学際的に修得しています。

人文学部 こども文化学科

こども文化学科では、124 単位の修得と必修等の条件を充たした上で、以下のような能力・資質を涵養し、それらを総合的に活用できる学生に学位を授与するものとします。

(1) 幅広い教養と複眼的・総合的思考力

幅広い教養を修得し、複眼的・総合的な思考のもとに、文化を引き継ぎ、創造できる子どもを育むことができます。

(2) 主体的な学習力と他者との協働力

小学校教員、放課後児童支援員等として高度な専門的知識を生涯にわたって主体的に学習し、社会貢献することができます。

子どもに関わる専門的職業人として必要なコミュニケーション能力の形成を通して、多様な他者との関係を形成することができます。

(3) 地域共創力

地域や自然の中で、教育や子どもの課題について考えるための能力を形成することがで

きます。

子どもが生きていくために必要な社会や自然のあり方を地域に根ざして考えることにより、平和な社会の形成に参画できます。

(4) 専門的知識・技能の活用力

子どもの教育や発達についての専門的な知識・技能を習得し、社会での実践的な問題解決のために活用することができます。

健康栄養学部 管理栄養学科

管理栄養学科では、124単位の修得と必修等の条件を充たした上で、以下のような能力・資質を涵養し、それらを総合的に活用できる学生に学位を授与するものとします。

(1) 幅広い教養と複眼的・総合的思考力

幅広い教養を修得し、複眼的・総合的な思考のもとに、生命倫理の原則・科学的根拠に基づいた「栄養の指導」ができます。

(2) 主体的な学習力と他者との協働力

管理栄養士・栄養士として高度な専門的知識を生涯にわたって主体的に学習し、社会貢献できます。

人々の人権・人格を尊重し、共生社会を理解し、互いを尊敬し、また、常に自らを律し、人格の陶冶に努めることができ、関連職種や関連機関と連携・協働して、人々の健康および生活の質（QOL）の向上に寄与できます。

(3) 地域共創力

沖縄県の自然的、地理的、歴史的特長を踏まえた食と健康の関係について探求・応用し、沖縄県はもとよりアジア・太平洋諸国の公衆衛生の向上に寄与できます。

(4) 専門的知識・技能の活用力

栄養学および「食」の分野のリーダーとして社会の幅広いフィールドで活躍できる技能を習得し、自らの専門性と他の関連職種の役割を理解し、連携・協働してチーム医療を実践できます。

大学院現代沖縄研究科 地域経営専攻

沖縄の地域社会が直面する経済的、社会的課題を学術的に解明し、以下のいずれかの観点から、将来の学術的発展に貢献できる。

1. 沖縄の経済や産業構造の問題を調査分析し、問題解決の方向性を示すことができる。
2. 地域社会における法律や自治に関する諸問題を分析し、政策の提言等ができる。
3. 沖縄の健康、保健、福祉等の実践的課題に取り組み、課題解決の方策を提示できる。

4. 上記 1 から 3 までの諸問題を、専門的および学術的視点から分析・考察する研究能力を身につけている。

大学院現代沖縄研究科 沖縄・東アジア地域研究専攻

沖縄および東アジア諸地域の社会、文化、歴史などの領域の諸問題を学際的に解明し、以下のいずれかの観点から、将来の学術的発展に寄与することができる。

1. 沖縄の政治・社会構造や文化、歴史の諸問題を「東アジアのなかの沖縄」という視点から研究し、現代沖縄の文化的な諸課題の解明に取り組むことができる。
2. 東アジア諸地域の社会、歴史、文化事象を研究し、現代沖縄の社会文化の諸問題の解明に結びつけて考察することができる。
3. 沖縄と東アジアの文化交流の推進モデルの構築に取り組むことができる。
4. 沖縄及び東アジアの地域研究上の問題に専門的視点及び学際的視点から取り組み、その問題解決の方法を概念化し、さらには理論化を試みることができる。